

## 令和5年度「新美祢市病院改革プラン」点検・評価報告書

### 1 令和5年度美祢市病院事業報告

#### (1) 患者数

##### ア 市立2病院全体

市立2病院全体の延入院患者数は6万2,314人で、前年度に比し4,735人の増となった。増加理由は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行されたことから、新型コロナウイルス感染症感染患者受入病床の確保を解除したこと等によると考えている。

また、延外来患者数は6万578人で、前年度に比し2,438人の減となった。減少理由は、新型コロナウイルス感染症等の発熱外来患者が減ったためと考えている。

##### イ 美祢市立病院

美祢市立病院においては、延入院患者数は3万2,764人で前年度に比し2,370人の増、1日平均入院患者数は89.5人で前年度に比し6.2人の増となり、病床利用率は、71.0%となった。延外来患者数は、3万5,975人で前年度に比し967人の減、1日平均外来患者数は144.3人で前年度に比し3.8人の減となった。

なお、患者1人当たりの収益は、入院3万928円、外来1万2,235円となった。

##### ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院においては、延入院患者数は2万9,550人で前年度に比し2,365人の増、1日平均入院患者数は80.7人で前年度に比し6.2人の増となり、病床利用率は80.7%となった。延外来患者数は、2万4,603人で前年度に比し1,471人の減、1日平均外来患者数は101.2人で前年度に比し6.1人の減となった。

なお、患者1人当たりの収益は、入院2万6,247円、外来8,544円となった。

#### (2) 収益的収支

##### ア 市立2病院全体

令和5年度の市立2病院事業の収益的収支は、総収入35億2,637万3,650円、総支出37億5,855万6,858円を計上し、差し引き2億3,218万3,208円の純損失となった。

その結果、この純損失に前年度未処理欠損金の5億3,225万7,356円を加え、7億6,444万564円の当年度未処理欠損金となった。

##### イ 美祢市立病院

美祢市立病院は、総収入20億4,973万9,090円、総支出22億4,141万2,973円で、差し引き1億9,167万3,883円の純損失となった。

## ウ 美祢市立美東病院

美祢市立美東病院は、総収入 14 億 7,663 万 4,560 円、総支出 15 億 1,714 万 3,885 円で、差し引き 4,050 万 9,325 円の純損失となった。

## 2 令和 5 年度における各種経営指標の数値目標と達成度

### ○美祢市立病院

		経営指標の数値目標と達成度				
		単位	R 5 目標	R 5 実績	達成 状況	特記事項
1	病院機能・収益向上に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]					
①	入院患者数（1日当たり）					
	一般	人	74.4	56.8	×	新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻っていないため
	療養	人	45.8	32.7	×	新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻っていないため
②	外来患者数（1日当たり）	人	166.9	144.3	×	新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻っていないため
③	救急受入件数（年間）	件	700	772	○	
④	紹介率	%	50.0	39.3	×	患者転院等の鈍化
⑤	逆紹介率	%	30.0	17.7	×	かかりつけ患者数の増加
⑥	リハビリ件数（年間）	件	26,000	36,835	○	
2	経費削減に関する指標 [実績/目標=100%以下：○、100%以上110%未満：△、110%以上：×]					
①	職員給与費対医業収益比率	%	65.9	81.8	×	医業収益の目標未達、委託業務の見直しのため
②	材料費対医業収益比率	%	15.0	17.1	×	医業収益の目標未達のため
③	委託料対医業収益比率	%	14.0	13.0	○	委託業務の見直しのため
3	収支状況に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]					
①	経常収支比率	%	100.0	91.5	△	新型コロナウイルス感染症関連補助金の減のため
②	医業収支比率	%	91.0	76.2	×	医業収益の目標未達のため
③	資金収支（単年度）	百万円	18	△145	×	新型コロナウイルス感染症関連補助金の減、医業収益の目標未達のため

### ○美祢市立美東病院

		経営指標の数値目標と達成度				
		単位	R 5 目標	R 5 実績	達成 状況	特記事項
1	病院機能・収益向上に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]					
①	入院患者数（1日当たり）					
	一般	人	50.2	45.8	△	新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻っていないため
	療養	人	37.5	34.9	△	新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻っていないため
②	外来患者数（1日当たり）	人	120.0	101.2	×	新型コロナウイルス感染症流行前の水準に戻っていないため
③	救急急受入件数（年間）	件	950	832	×	休日当番医制から外れたため
④	紹介率	%	65.0	44.9	×	患者転院等の鈍化
⑤	逆紹介率	%	45.0	32.1	×	かかりつけ患者数の増加
⑥	リハビリ件数（年間）	件	17,500	18,169	○	外来リハの増加
2	経費削減に関する指標 [実績/目標=100%以下：○、100%以上110%未満：△、110%以上：×]					
①	職員給与費対医業収益比率	%	76.6	86.3	×	医業収益の目標未達、委託業務の見直しによる
②	材料費対医業収益比率	%	10.0	13.5	×	材料費の高騰及び医業収益の目標未達のため
③	委託料対医業収益比率	%	17.0	13.3	○	委託業務の見直しのため
3	収支状況に関する指標 [実績/目標=100%以上：○、90%以上100%未満：△、90%未満：×]					
①	経常収支比率	%	102.2	97.6	△	医業収益の目標未達のため
②	医業収支比率	%	83.0	75.3	△	医業収益の目標未達のため
③	資金収支（単年度）	百万円	8	△96	×	医業収益の目標未達のため

### 3 評価と経営改善に向けた取組み

#### (1) 評価

- 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行されたが、市立2病院ともに、入院患者は、前年度に比べ増加したもののコロナ禍前の水準に戻っていない。外来患者は、発熱外来患者の減少や薬剤の長期処方により減少傾向である。
- また、新型コロナウイルス感染症関連の補助金も大幅に縮小され、収益が大きく減少した。
- 一方、費用面においては、最低賃金の上昇や原材料価格、原油価格の高騰など社会情勢の影響を受け、給与費、材料費、経費（特に委託料、光熱水費、燃料費）の支出が増加している。
- この結果、美祢市立病院では192百万円、美祢市立美東病院41百万円の純損失を計上することとなった。
- 特に、美祢市立病院では、運転資金が枯渇しており、資金増加（確保）の対策が急務である。

#### (2) 経営改善に向けた取組み

- 令和6年度からは、令和6年3月に策定した「美祢市病院経営強化プラン」に基づき、取り組みを進めていく必要がある。
- 具体的には、市外の大規模急性期病院及び市内の開業医や高齢者施設との連携を強化し、積極的に紹介患者や救急患者を受け入れることにより、入院患者の増加に繋げ、持続的で安定した経営に引き続き取り組んでいく。
- また、医療職の慢性的な不足が続いており、美祢市立病院においては、看護師及び看護補助者（介護福祉士）、美祢市立美東病院においては、医師の確保が急務であり、引き続き山口県や山口大学医学部及び看護師等養成学校との連携を密にし、人材の確保に努める必要がある。